

# 令和7年度 学校経営構想

可児市立帷子小学校



## 可児市学校教育の方針と重点

- ◆教育の根底  
子どもの命を守る
- ◆目指す教育  
笑顔の学校
- ◆目指す方向  
笑顔の学校 第2ステージ

一人一人の今の笑顔を、未来につなげる。未来の笑顔につながる「笑顔の“もと”」を育む。

## 学校の教育目標

自ら求め 思いやり つくりだす子

かしこく なかよく たくましく



## 学校経営方針

「笑顔と元気」

わかった できた つながった

笑顔の“もと”

よく観る・聴く・考える  
仲間  
言葉 行動

よくみて、きいて、かんがえて  
やってみよう!

## 学校課題

- ・自分や仲間を大切に、仲間と共にみがき合い高め合える子の育成
- ・基本的な生活習慣と規範意識を身に付けた子の育成
- ・ねばり強く課題を追究し、自らの考えを豊かに表現する子の育成
- ・個別の支援を要する児童の増加への対応
- ・ふるさとを愛する心の涵養
- ・子どもに軸足を置いた学校教育活動の精選と働き方改革の実行
- ・学校運営協議会による学校運営への参画及び連携

めざす子どもの姿

進んで学ぶ

なかよくする

たくましくやりきる

育てたい力

確かな学力

人間関係力

主体的な行動力

一人一人の子ども「真の幸せ」を願い 具現する学校

学校運営協議会より  
帷子の子は 素直で、思いやりや優しさがある。しかし、何が起きるか分からない時代である。そこで、自分で考えて行動できる、たくましい子になってほしい。

## 具現の場と重点

### 【学習】

自ら求め、仲間とともに学びを確かにする子の育成をめざした授業づくり

- 授業に立ち向かう姿勢の指導
  - ・「聞く」「話す」「書く」指導の徹底
- 自らの考えをもち、仲間との話し合いが機能する授業
  - ・「主体的・対話的で深い学び」につながる表現・交流活動
  - ・「にっこりタイム」(小集団学習)の位置付け、充実
- 個別最適な学びができる学習環境づくり
  - ・ICTの活用と工夫
  - ・能動的な家庭学習のための工夫
- 特別の教科「道徳」の指導の充実
  - ・道徳的実践力につながる指導計画の開発
  - ・家庭や地域との連携を図った道徳教育の推進
- ユニバーサルデザインの授業づくり
  - ・誰もが「わかる」「できる」ことが実感できる工夫や配慮のある授業
- 教科担任制の導入
- 全職員での県社会科の研究への取組(公表会 10/31)

### 【特別活動】

よりよく生きるための自己有用感や他者意識や仲間と関わる力の醸成

- 「笑顔の“もと”」を育むワークショッププログラムの推進
- 自己有用感を育む学級・学年経営の充実
  - ・互いのよさを認め合い、居場所と絆のある学級づくり
  - ・心を耕し、日々の生き方を考える朝の会、帰りの会の充実
  - ・キャリア・パスポートを生かした教育活動の工夫
  - ・Hyper-QUの分析と活用
- 思いやりの心と自治力を育む児童会活動の展開と温かい人間関係づくり
- ・日常生活の向上のために、進んで自己を生かす児童の育成
- ・異年齢集団による活動を生かした人権教育の推進
- 持続可能な発展のための教育(ESD)の視点に立ったふるさと教育の推進
- 読書環境の充実と読書活動の推進
  - ・読書習慣の定着と家庭読書の推進

### 【保健安全】

自ら健康や安全に心がけ、明るく主体的に行動できる力の醸成

- かけがえのない命を守り切る指導の徹底
  - ・ウイルス感染症や非常災害から自らの命を守る指導の充実
  - ・保健衛生管理に関する正しい理解と生活習慣を身に付けさせる指導の徹底
  - ・命を守る訓練の内容の工夫と改善
  - ・安全な登下校と、廊下歩行の徹底
- 健康づくりの推進
  - ・早寝、早起き、朝ごはんの習慣化
  - ・歯磨き、うがい、手洗いの励行
  - ・業間の外遊び、体力づくり
  - ・実践的な情報モラル指導の充実
- 望ましい食習慣の育成
  - ・食教育(感謝・命・安全)の充実
- 「美しく整える」指導の徹底
  - ・心を磨く清掃活動の充実
  - ・日常の環境衛生、環境美化へのこだわり

### 【生徒指導】 自己指導能力を育む生活指導の充実

- ①すべての教育活動を貫いて、特に次の3点に留意する
  - ・自己有用感をもたせること
  - ・他者意識をもち、共感的な人間関係を育むこと
  - ・自己決定の場を意図的に設けること
- ②一人一人の児童に寄り添い、信頼と愛情を基盤にした児童理解に徹する
  - ・常に危機意識をもち、わずかな変化を見逃さない指導
  - ・SCやSSW、関係機関との連携・協力
  - ・定期的なアンケートの実施と教育相談体制の充実
  - ・保護者、地域、校種間での情報共有と指導の連携

- ひとりじゃない いつも チームにっこり帷子小  
定時退校のための7カ条
- 1 机上の整理整頓
  - 2 教材・教具の共用・使い回しを
  - 3 良質な雑談を
  - 4 優先順位を適切に
  - 5 仕事には制限時間を
  - 6 70~80点主義で
  - 7 自分へのごほうびを
- \*生徒指導と保護者対応にこそ100の力を注ごう  
退校時刻 全員 18:00 までに

## 地域・保護者と共に歩む学校

帷子・広陵の教育を語る会(帷子小・広陵中コミュニティスクール)保護者や地域と目標を共有しながら、学校運営を共に行っていくために、広陵中学校との連携をもとにコミュニティ・スクールを導入する。保護者、地域、学校が大切にしたい「笑顔のもと」を検討し、共有する。改めて三者の役割を明確にし、学校運営協議会によるコミュニティ・スクールの定着に努める。

## チーム力で支え合う学校

### 鍛え合い、支え合う職員集団

- ①豊かな人間性を備えた教職員(人権感覚・倫理観)
- ②「かけがえのない一人一人の児童を育むのだ」という情熱と使命感をもつ教職員
- ③教育のプロとしての資質と力量を身に付けた教職員
- ④相互補完をし合いながら自らの労務管理ができる職員集団